

## 「こんな家に住みたい」という声を反映 伝統の『技』保土ヶ谷に再現

「百年住宅・オープンハウス」(現地見学会)を1月20日(土)・21日(日)に開催



▶伝統と革新が融合した空間

いよいよ年の瀬を迎え、保土ヶ谷区内でも各所で新年の準備が進む中、地元にもなく完成となる住宅が今、にわかに注目を集めている。「百年安心して住める家」を目指し、伝統の工法にこだわった匠の技と、若手建築家の才能(アイデア)が調和したこの家。来年1月には、現地見学会も予定されている。

元々、日本古来の建築工法は完成された職人の技術はもろろん、その高い性能から世界的にも評価を受けている。しかし近年の住宅事情においては、その優れた長所を全く生かされていない物件が多いのもまた事実。そんな中で現在、区内に建築が進められているこの建物を通じて、作り手が提唱しているのが「木造の伝統工法でつくる百年住宅」。これは「贅沢な木のみならず、「心」「技」「形」いずれの観点からも本物を再現するために職人たちが「匠の技」を結集。さらにデザインや設計には地元、保土ヶ谷にある設計事務所「若手建築家が登用され溢れる「斬新」なアイデアが「伝統」という名の確かな技術と高いレベルで融合している。この家は、多くの人の「こんな家に住みたい」といった意見を反映している点からも注目を集めている。

## 百年住宅・施工者紹介 匠の技を守り、伝える…

日本伝統建築技術保存会理事 松本 高広 棟梁  
 同会会員大工4名の仕事



今回の「百年住宅」の建築は、いわゆる「匠の技」々活躍している伝統大工たち(写真左上)は、日本伝統建築技術保存会の理事。これまでも、日本古来の伝統的木造建築技術を守り、次世代に伝えるため、文化財建造物の保存事業等に尽力。同会は近年の画一的で大量生産的な技術革新の波に危機感を募らせる一方、後継者の育成などを通して、伝統大工棟梁技術の保存や向上などを図っている。また具体的には「横浜市

有形文化財「御下邸」(鎌倉瑞泉寺)、「大磯旧三井邸別荘」等といった由緒ある社寺や文化財建造物などの修復や保存を手掛け、古(いにしえ)の匠たちの叡智(えいち)を吸収。技術研鑽を重ねている。「匠の技」を守り続けてきた松本さん。今回、社寺建築に加えてこの住宅建築に携わり「百年住宅」に情熱を燃やしているのは、普通の人が生活する家づくりを通して「少しでも多くの人に、木造建築の力強さや伝統技術の素晴らしさを知ってもらいたいから」。喜怒哀楽の棟梁は、間近に迫った区内の物件完成を前に、今日も職人達と一緒に汗を流している。

## 区内の有名スポットも 私達の仕事です!

地域密着を掲げる設計事務所(株)USC街・空間計画



また「百年住宅」の設計を担当する有限会社USC街・空間計画(兼弘彰代表)は区内・初音ヶ丘に拠点を構える設計事務所。地域密着を掲げる同所は、歴史と文化を生かした街づくりを目指し、行政関係からの仕事依頼も多数。現在、国道1号線沿いで進行している「松並木プロジェクト」(写真左下)をはじめ「境木武相国境モニュメント製作」(同左下)、さらには多目的防犯ステーションとして知られる「帷子番所建設」(同右上)、「御所台の井戸改修工事」(同右下)といった、保土ヶ谷区内でよく見かける、有名スポット各所の設計などを手掛けている。ちなみに若手の建築家を多く抱える同所は常に光るアイデアの宝庫といった様子。完成間近の物件ではどんな才能が発揮されているのか、今から楽しみだ。

## 百年住宅・設計者紹介

健康的で「百年住宅」の魅力とは?



この家に一歩足を踏み入れると木のよい香りにつつまれる。80%森林に恵まれた我が国は、木と共生してきた。木材は常に呼吸し湿度調整空気浄化など人々に健康的な癒しの空間を与えている。また、昔ながらの古民家に代表されるように、木造の伝統住宅は「丈夫で長持ち」であり、幾世代にもわたり住み継ぐことができる。それほど長寿命な建物になる。さらに、柱や梁は「り」などに使用する木材などは、原木を切り倒したときに新しい苗を植えておけば、建て替えが必要になるころ木に成長していることから、大きな意味での環境保全、エコサイクルを可能にする。修理のときは、組み合わせてある部材を

「健康的で「百年住宅」の魅力とは?」

こうした伝統工法の利点を単なる懐古主義に留まらせることなく、随所に最新住宅の特長や性能をバランスよく織り込み「百年住める本物を受け継ぐ家」の再現に取り組んでいる。なお「百年住宅」は施主の興味や熱意によって誰でも建築可能。来年1月20日(土)、21日(日)には現地見学会が予定されており、熱意に溢れた家づくりを体感できる(詳細は下記参照)。

入念な打合せによって、ここから斬新なアイデアが生み出される

若手建築家によるこだわりの設計と伝統の技が融合された家をぜひご見学下さい!

## 百年住宅を見に行こう

—長い年月をかけて完成された伝統工法による永く住み継がれる家づくりの試み—

### 「百年住宅・オープンハウス」のご案内

所在地:横浜市保土ヶ谷区  
 構造規模:木造2階建(伝統工法)  
 設計:有限会社USC街・空間計画  
 施工:有限会社 松本社寺建設  
 (平成12年建設省告示改正により実現)

### 入場無料 お気軽にご来場ください

日時:平成19年1月20日(土)、21日(日)(9:00~15:00)の2日間  
 お申し込み方法:見学を希望される方は本紙に必要事項をご記入の上、下記にFAXしていただくか、又は、本紙の必要事項をご記入の上、下記のEメールにてお申し込み下さい。折り返しご案内をお送り致します。  
 お申し込み締め切り:平成19年1月17日(水)

氏名 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_  
 住所 〒 \_\_\_\_\_ ご連絡先 ※案内図をお送りするため、必ずどちらかをご記入下さい。  
 FAX \_\_\_\_\_  
 Eメールアドレス \_\_\_\_\_

FAX:045(335)7176/Eメール:nagai@u-s-c.jp

お問い合わせ:有限会社USC街・空間計画 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘9-2/☎045-335-7164/☎045-335-7176(担当永井)



新しさと伝統が調和した外観のシルエット

大工が受け継ぐ木材加工の技

ヒバの大黒柱を中心にマツの梁をダイナミックに現した大空間リビング